

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書  
(控訴審第30準備書面関係)

平成29年1月24日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

同 弁護士 笠原一浩

ほか

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲412	原子力・エネルギー一図面集「第6章放射線」(抄, 26枚目)		電気事業連合会	①放射性物質, 放射能, ベクレル, シーベルトの意味,	
甲 413 の 1	「総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会第12回廃止措置安全小委員会」の議事次第	H22.6.7	経済産業省総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会	甲413の2が経済産業省作成の資料であることなど。	
甲 413 の 2	「参考資料3-4区域、線量、クリアランス等についての整理」	H22.6.7	経済産業省総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会	周辺監視区域は, 原子力施設の周囲を柵などにより区画し, その外側にいる人が受ける放射線の量が, 法令で規制している値(1年間の実効線量: 1mSv, 皮膚及び眼の水晶体の1年間の等価線量: 50mSv)を超えることがないように管理している区域をいうことなど。	

甲414	「SUMMARY」から始まる文書	写し	2014.8.25	原子力資料情報室 上澤千尋	大飯原発3号機が過酷事故を起こした場合に、原発から最も遠い約1250キロメートル地点に居住する原告も少なくとも法の求める公衆被曝限度1ミリシーベルト/年の5倍の被曝をする可能性があること等	
甲 415 の1	Ionising radiation and risk of death from leukaemia and lymphoma in radiation-monitored workers (INWORKS): an international cohort study (国際コホート研究:放射線をモニターされた労働者の白血病およびリンパ腫による死亡リスクと電離放射線)	写し	2015.6.21	Klervi Leuraud 博士ほか	成人に対する赤色骨髄への年間平均被曝量1.1mGy, 平均累積被曝量15.9mGy, 累積被曝量の間値は2.1mGyという低線量・低線量率の被曝において、被曝1Gyごとに白血病によって死亡するリスクが3.96倍に増加することが検出された事実等	The Lancet サイト内 <a href="http://www.thelancet.com/pdfs/journals/lanhae/PIIS2352-3026%2815%2900094-0.pdf">http://www.thelancet.com/pdfs/journals/lanhae/PIIS2352-3026%2815%2900094-0.pdf</a>
甲 415 の2	上記の和訳(抄訳)	写し	2017.1	一審原告 ら代理人	上記の日本語訳	
甲 416 の1	Even low doses of radiation increase risk of dying from leukaemia in nuclear workers, says IARC (たとえ低線量被曝であっても、核労働者における白血病による死亡リスクは増加している、とIARCは述べる)	写し	2015.6.21	IARC	IARCによって、上記研究の結果は、白血病による死亡と電離放射線被曝との正の関連性を裏付ける強力な証拠を浮かび上がらせ、被曝によって白血病のリスクは直線的に増加することを示したと評価された事実等	IARC サイト内 <a href="https://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2015/pdfs/pr235_E.pdf">https://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2015/pdfs/pr235_E.pdf</a>
甲 416 の2	上記の和訳(抄訳)	写し	2017.1	一審原告 代理人	上記の日本語訳	

甲 417 の1	Risk of cancer from occupational exposure to ionising radiation:retrospective cohort study of workers in France, the United Kingdom, and the United States (INWORKS) (職業上の電離放射線被曝によるガンリスク：英米仏労働者の後ろ向きコホート研究)	写し	2015.10.21	David B Richardson ノースカロライナ大学公衆衛生専攻准教授ほか	成人に対する平均累積結腸被曝量20.9mGyという低線量においても、白血病を除く全ガンの死亡率は1Gy当たり48%、全固形ガンによる死亡率は47%増加した事実等	British Medical Journal サイト内 http://www.bmj.com/content/bmj/351/bmj.h5359.full.pdf
甲 417 の2	上記の和訳	写し	2017.1	一審原告代理人	上記の日本語訳	
甲 418 の1	Low doses of ionizing radiation increase risk of death from solid cancers (電離放射線低線量被曝は固形ガンによる死亡リスクを増やす)	写し	2015.10.21	IARC	IARCによって、上記研究の結果は、現在までの最も強力な研究に基づく長期的な低線量電離放射線被曝後のガンリスクに関する直接的な証拠を提供している、固形ガンと低線量電離放射線被曝との間の因果関係に関する証拠を強化すると評価された事実等	IARC サイト内 https://www.iarc.fr/en/media-centre/pr/2015/pdfs/pr238_E.pdf
甲 418 の2	上記の和訳	写し	2017.1	一審原告代理人	上記の日本語訳	
甲 419 の1	Background Ionizing Radiation and the Risk of Childhood Cancer:A Census-Based Nationwide Cohort Study (自然放射線と小児ガンのリスク：センサスに基づく全国的コホート研究)	写し	2015.6.1	Ben D. Spycher ほか	小児(16歳未満)という放射線感受性の強い年齢層では、わずか毎時0.2マイクロSv以上の線量であっても、毎時0.1マイクロSv未満の線量の場合に比して、全ガンおよび白血病・急性リンパ性白血病・中枢神経系腫瘍が明らかに増加し、自然放射線と小児ガンとの関係は因果関係と判断された事実等	Environmental Health Perspectives サイト内 http://ehp.niehs.nih.gov/wp-content/uploads/123/6/ehp.1408548.alt.pdf

甲 419 の2	上記の和訳	写し	2017.1	一審原告 代理人		
甲 420 の1	A record-based case-control study of natural background radiation and the incidence of childhood leukaemia and other cancers in Great Britain during 1980-2006. (1980～2006年の間のイギリスにおける自然放射線と小児白血病および小児ガン発生率に関する記録に基づく症例管理研究)	写し	2012.6.5	Gerald M. Kendall 博士ほか	イギリスにおいても、自然放射線レベルの被曝ですら小児(15歳未満)白血病は増加し、累積被曝量4.1mGy超では統計的に有意であることが明らかにされ、しかもこのリスク増加はバイアスや交絡因子によるものとは考えられない事実等	アメリカ国立生物工学情報センターサイト内 <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3998763/pdf/nihms533874.pdf">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3998763/pdf/nihms533874.pdf</a>
甲 420 の2	上記の和訳	写し	2017.1	一審原告 代理人	上記の日本語訳	
甲 421 の1	Radiation exposure from CT scans in childhood and subsequent risk of leukaemia and brain tumours: a retrospective cohort study (小児期のCTスキャンによる放射線被曝とその後の白血病および脳腫瘍リスク：後ろ向きコホート研究)	写し	2012.6.7	Mark S Pearce 教授ほか	累積被曝約50mSvという低線量のCTスキャン使用ですら白血病リスクは約3倍に、累積被曝約60mSvという低線量のCTスキャン使用ですら脳ガンリスクを約3倍にしうるのであり、CTスキャンによる赤色骨髄および頭部への推定放射線被曝量とその後の白血病および脳腫瘍との間の有意な関連性を提示する、とされた事実等	The Lancet サイト内 <a href="http://www.thelancet.com/pdfs/journals/lancet/PIIS0140-6736%2812%2960815-0.pdf">http://www.thelancet.com/pdfs/journals/lancet/PIIS0140-6736%2812%2960815-0.pdf</a>
甲 421 の2	上記の和訳	写し	2017.1	一審原告 代理人	上記の日本語訳	